

ディベート(論戦)実習

- ・論理的思考

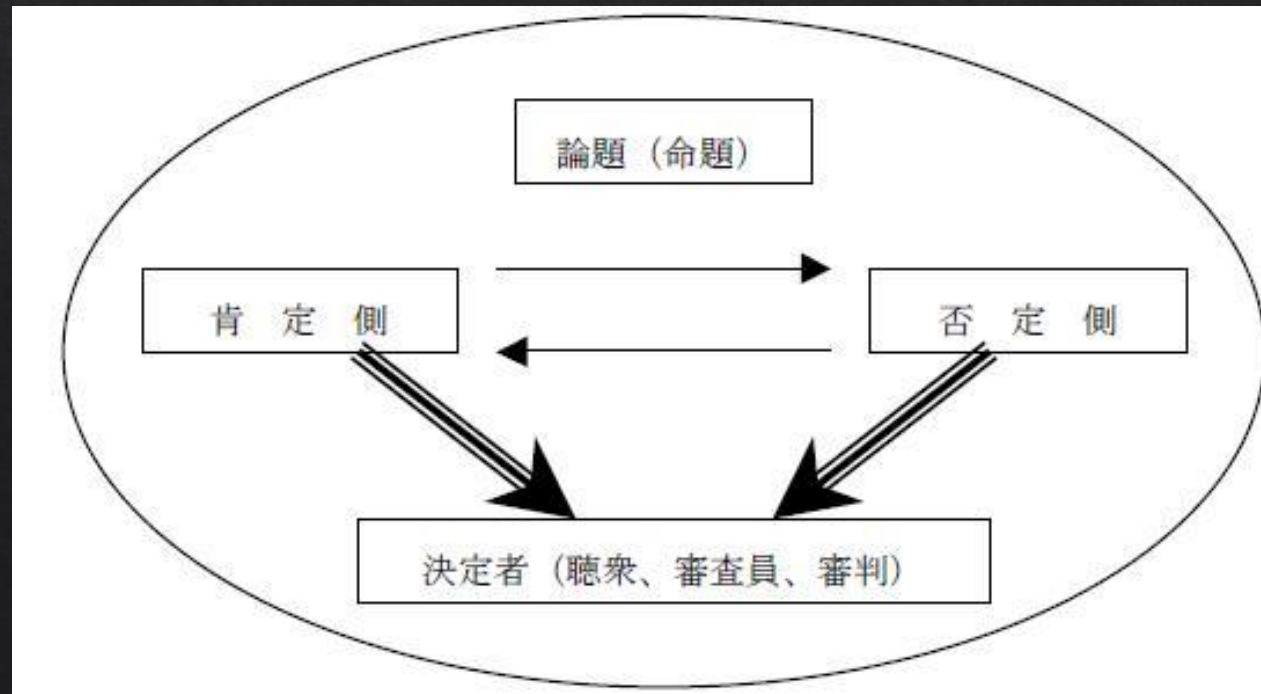
logic → dialogue, prologue

- ・結果分析 → 多変量分析

- ・小論文・面接への応用

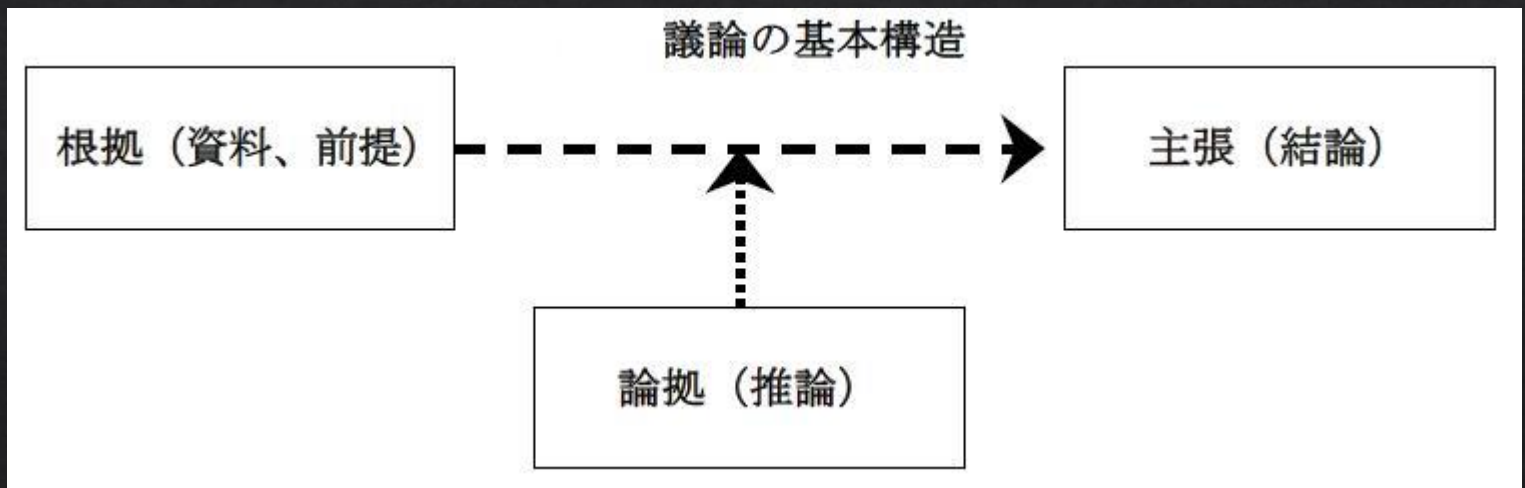
論題（提案）に対して

- ◇ 肯定側：論題を支持して、提案をする側
- ◇ 否定側：論題を不支持の立場で、提案を検討する側
- ◇ 二つの立場は、機械的に決定
- ◇ 個人的な意見と切り離す
- ◇ 感情的側面を消去・論理の構築（三段論法）
- ◇ 詭弁の排除
- ◇ 多角的な視点



肯定・否定論旨の構築

- ◇ 論題の分析と資料調査→肯定・否定の議論の提示や全体的な戦略構築
- ◇ 肯定・否定側の立場をまとめたもの: ケース
- ◇ 前者のケースは利益の論証、後者は不利益の論証



ルール・審判による判定

- ◇ 発言時間、回数、順番
 - ◇ メリット・デメリット比較方式：肯定側・否定側ともに、立論各1回5分づつ、質疑応答と反駁が交互に2回5分。人数は5人制
 - ◇ 論理的に説明
 - ◇ 説得の方向を相手ではなく聴衆に向ける
 - ◇ 相手の論破ではなく、聴いている人を説得
 - ◇ 発言 ...正しい前提に立ち、結論をはっきり述べる
- ↓
- ◇ 反論 ...発言の結論に対して反論する

三段論法帰納法

- ◇ 「大前提」「小前提」「結論」の三つの命題から成る推論規則
- ◇ 例1
- ◇ 頼朝、尊氏、信長、秀吉、家康はいずれも鬼籍である。(状況、事実)
- ◇ 彼らは全員「人」であった。(状況、事実)
- ◇ 故に、人はいつか死ぬものである。(仮説、原則、法則、規範・・・)
- ◇ 例2
- ◇ 英語模試SS40、50、60、70台の集団はA大学合格率30%、40%、50%、60%
- ◇ 英語模試SS40、50、60、70台の集団はB大学合格率40%、50%、60%、70%
- ◇ 故に大学合格率は、英語の成績に対して正の相関がある(仮説、原則、法則、規範・・・)

三段論法演繹法

- ◇ 「大前提」「小前提」「結論」の三つの命題から成る推論規則
- ◇ 例1
- ◇ 人はいつか死ぬものである。(原則、法則、規範・・・)
- ◇ 私は人である。(状況、事実)
- ◇ 故に私はいつか死ぬであろう。(結論、判断、推論)
- ◇ 例2
- ◇ 地球上の物体の自然落下速度は、 $v=9.8 t$ [m/s]である。
- ◇ 自然落下2秒後の場合 $t=2$ [s]である。
- ◇ 2秒後の落下速度は、 $v=9.8 \times 2=19.8$ [m/s]

仮言的三段論法（仮言的推理）

- ◇ 大前提が仮言的判断で、小前提と結論とが定言的判断となる。両前提・結論とも仮言的判断のものもある。
- ◇ 例1
- ◇ 「もし乱開発が進めば自然が失われる」
- ◇ 「乱開発が進んでいる」「故に自然が失われている」

詭弁(きべん)

- ◇ 実際には誤りである論理展開が用いられている推論
- ◇ 前件否定の虚偽
- ◇ 後件肯定の虚偽
- ◇ 媒概念不周延の虚偽
- ◇ 二分法
- ◇ 未知論証
- ◇ 権威論証
- ◇ 多数論証
- ◇ 架空の論法

前件否定

- ◇ XはYである。故にXではないならYではない
- ◇ 例1
- ◇ 「人は動物である。」
- ◇ 「猿は人ではない、故に猿は動物ではない。」
- ◇ 誤りのポイント:「人だけが動物であると解している。」
- ◇ 例2
- ◇ 「植物は生物である。」
- ◇ 「人は植物ではないので生物ではない。」
- ◇ 例3 成立する場合
- ◇ 「地球は太陽系第3惑星である。」
- ◇ 「火星は地球ではない、故に火星は第3惑星ではない。」

後件肯定の虚偽

- ◇ XはYである。故にYはXである。
- ◇ 例1
- ◇ 「犬は哺乳類である。故に哺乳類は犬である。」
- ◇ 誤りのポイント: 哺乳類は犬の場合もあれば、そうでない場合もある。
- ◇ 例2
- ◇ 「私は運動をすると汗をかく」「私は今、汗をかいている、故に私は今、運動をしている」
- ◇ 誤りのポイント: 汗をかくときには、病気で熱があるときや気温が高い場合もある。

媒概念不周延の虚偽

- ◇ XはYである。ZもYである。故にZはXである
- ◇ 例1
- ◇ 「人は生物である。馬も生物である。故に人は馬である。」
- ◇ 「賢者は読書家である。私も読書家だ。故に私は賢者である。」
- ◇ 誤りのポイント:「人」は「全ての人」をカバーする(周延)が、「生物全て」をカバーしていない(不周延)、生物は人とは限らないし、読書家は賢者と限らない

二分法

- ◇ XはYかZのいずれかである。然るに、XはYではない。故にXはZである
- ◇ 例1
- ◇ 「君は僕の事を『嫌いではない』と言ったじゃないか。それなら、好きて事だろう。」
- ◇ 誤りのポイント: 無関心の欠落
- ◇ 例2 成立する例
- ◇ 「自然数は“偶数”か“奇数”のいずれかである。2は“奇数”ではない。故に2は“偶数”である。」

多数論証・権威論証

◇ 例1

◇ 「こんなことをしてはいけないよ」「だって皆やっているよ」

◇ 誤りのポイント: 全員でなくとも「皆」、多数派が正しい論拠はない

◇ 例2

◇ 「私は犬を敬うべきと考える、徳川4代将軍も犬を敬えと言っている
のでこれは正しい。」

◇ 誤りのポイント: 専門家・著名人・権力者・・・が正しい論拠はない

未知論証

- ◇ XがYでない事は誰にも証明出来ない。故にXはYである
- ◇ 実例
- ◇ 「宇宙人がいない証拠はない。故に宇宙人はいる。」
- ◇ 誤りのポイント: 証拠が無い場合は論証的には何も言えない